



ごみ・資源物の分別にご協力を！

★環境推進課 ☎ 25- 1 1 7 2

暑くなると増える飲み物の缶。資源物として収集したものと、不燃ごみとして収集したものでは、全く価値が違います。また、分別がされないことで事故につながるごみも存在しています。家庭での分別が質の高いリサイクルや安全なごみ処理につながりますので、ぜひご協力をお願いします。

ペットボトル・飲料料用缶・びんは、資源物収集所へ

資源物の回収場所は、普段の可燃ごみ等を集めている収集所とは別の「資源物収集所」です。市役所や公民館等では拠点回収も行っています。



▲回収容器が資源物収集所の目印

【ペットボトル / 飲料料用缶 / びんの出し方】

- ①キャップ、ふたをはずす。ペットボトルはラベルもはがす。
- ②中身をすべて出し、水ですすぐ。容器はつぶさない。
- ③資源物を回収容器へ入れる。持ち運びに使ったビニール袋等は持ち帰る。

※最近ビニール袋の混入が増えています。処理機械の故障につながるので必ず持ち帰りください。

▼不燃ごみで出された飲料缶



スプレー缶・小型充電式電池は、不燃ごみに出さないで！

不燃ごみの中にスプレー缶や小型充電式電池が混入していた場合、違反ごみとして収集しません。

もし、気づかずに収集してしまうと、ごみ収集車や処理施設での火災等の事故につながります。排出日を守って正しく処分しましょう。

【スプレー缶 / 小型充電式電池の出し方】

スプレー缶

- ①中身を使い切る（穴は開けない）。
- ②透明な袋に入れて「スプレー缶の日」に出すか、拠点回収へ持ち込む。

小型充電式電池

- ①電極の金属端子部分にテープを貼る。
- ②透明な袋に入れて「有害ごみの日」に出すか、環境推進課または支所環境産業課へ持ち込む。

▼小山川クリーンセンターで発火した小型充電式電池



※詳しい分別方法や資源物収集所の場所は、ごみ分別アプリでチェック！

ゴミ分別アプリ



iOS 版



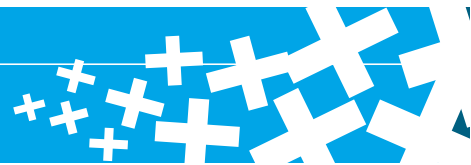
Android 版

集団資源回収予定表 <回収品目は古紙類・缶類です>

回収場所	日程	時間	問合せ先
本庄南公民館 ※布類回収も実施	7月12日(土)	午前9時～11時	佐久間さんち ☎22-9300
就労継続支援B型事業所 「佐久間さんち」(本庄高校北側)	随時受付		ポノポノ ☎23-2195
市役所及びアスピアこだまで行っていた、集団資源回収は終了しました。今後は拠点回収(右記コード参照)をご利用ください。			
		紙類の拠点回収	資源物の拠点回収

■令和7年4月分のごみの量
(可燃・不燃・有害・粗大)
家庭系ごみ排出量 1,543.95t
1人1日当たり排出量約 673g
前年同月比 -94g (-12.2%)
事業系ごみ排出量 527.32t
1人1日当たり排出量約 230g
前年同月比 -44g (-16.1%)

※天候等の理由で変更になる場合があります。各団体にご確認ください。



医療メモ

予防填塞（シーラント）について

本庄市児玉郡歯科医師会広報部

乳歯や幼若永久歯（生えたての永久歯）は、エナメル質の石灰化が不十分（硬くない）で、特に歯のかむ面にある溝が深く複雑な形態をしているため、プラークや食べかすが溜まりやすく、ブラッシングでの除去も困難なことから、非常にむし歯になりやすい特徴があります。

シーラントは、こうした小さな深い溝に歯科材料を填塞（溝を埋める）することで、食べかすや細菌の侵入を防ぎ、むし歯の発生を抑制する予防処置です。日本小児歯科学会が策定したガイドラインでは、乳歯および幼若永久歯に対する予防填塞の適応や方法、材料選択に関して科学的根拠に基づいた推奨度が示されており、臨床判断の指針として活用されています。

とりわけ乳臼歯（こどもの奥歯）では、かむ面が深く複雑な形態をしており、プラークが溜まりやすく、ブラッシングで取り除くことが困難なことから、むし歯のリスクが高くなります。そのため、お口の衛生状態や虫歯のリスク評価に基づいて、必要に応じてシーラントを行うことが推奨されています。一方、幼若永久歯、特に第一大臼歯は6歳前後に生え始めるため、その直後にシーラント処置を行うことがむし歯予防において有効

ですが、これは生え始めの歯が未成熟で石灰化が不十分なためにむし歯に対する抵抗性が低く、また歯肉の位置関係やブラッシングの難しさから清掃不良が起きやすいためです。

シーラントは、溝の部分に材料をつめて、光照射して硬化させます。材料にはフッ素徐放性^{じょほうせい}があるものもあり、むし歯の発症抑制とともに歯の再石灰化促進効果も期待できます。また、処置後のフォローアップも重要です。シーラント材の脱落や摩擦の有無を定期的に確認し、必要に応じて再処置を行います。また歯を削らずにできる容易な予防手段であり、特にむし歯リスクが高い小児に対しては、正しい時期に適切に処置することで、長期的なお口の健康維持に貢献します。さらに、保護者への説明と協力も不可欠であり、シーラントの効果や継続的な管理の重要性を伝えることも大切です。

小児歯科治療において、シーラントはむし歯予防における基本的な処置の一つであり、適応範囲、時期、材料選択を適切に行うことで、将来的な虫歯治療の負担軽減と生涯にわたるお口の健康維持に寄与する有効な予防策といえます。



休日・夜間の急病のときは…

▶ 本庄市児玉郡医師会立本庄市休日急患診療所

☎ 23- 3 3 2 2

本庄市保健センター内で、内科系の比較的症状が軽く、入院の必要がない方の診療を行います。

※診療以外に関する問い合わせ・電話相談はご遠慮ください。

▶ 診療日と受付時間

◆ 日曜・休日・年末年始（12/30～1/3）

①午前9時～正午、②午後1時～4時、③午後7時～9時45分
※①②では発熱外来を行っていますが、時間内で診療できる人数には限りがあります。

◆ 平日木曜日夜間 午後8時～9時45分

▶ 用意 健康保険証

▶ 在宅当番医療機関 ▶ 診療時間 午前9時～正午

7月6日(日)	高山整形外科	見福2丁目	☎ 22- 3 2 4 5
7月13日(日)	田所医院	けやき1丁目	☎ 22- 3 4 4 5
7月20日(日)	辻クリニック	上里町七本木	☎ 35- 1 1 1 6
7月21日(祝)	本庄脳神経外科・脊椎外科	早稲田の杜5丁目	☎ 23- 9 1 5 6
7月27日(日)	寺坂医院	西富田	☎ 22- 3 3 4 3
8月3日(日)	中沢皮膚科	東台2丁目	☎ 22- 1 1 1 2
8月10日(日)	中村外科医院	日の出3丁目	☎ 21- 6 2 1 1

▶ 困ったときは電話相談（24時間・年中無休受付）

ほんじょう健康相談ダイヤル24（相談料・通話料無料）

☎ 0120-122-885

健康・医療・出産・育児・介護などの相談、医療機関情報の提供を行います。（市内在住者が対象）

埼玉県救急電話相談（通話料利用者負担）

☎ # 7119

救急医療相談に看護師が対応します。健康相談・育児相談には対応しません。（大人・小児共通）

※ IP 電話、ひかり電話、ダイヤル回線からは ☎ 048-824-4199 下記の電話番号からも救急電話相談が利用できます。

○ 小児救急電話相談 #8000 または ☎ 048-833-7911

令和7年度の新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口について

「埼玉県コロナ総合相談センター」及び「埼玉県新型コロナウイルスワクチン専門相談窓口」での電話相談は終了しました。新型コロナウイルス感染症に関して、発熱等でお困りの場合や、ワクチン接種後の副反応等については、「埼玉県救急電話相談（#7119）」へご相談ください。

★ 119番は緊急時（火災やけが人など）の受付専門電話番号です。医療機関の情報は、[児玉郡市広域消防本部指令課 ☎ 24- 1 1 1 9](#)でご案内します。診療科目によっては県外や本庄市・児玉郡以外の病院をご案内する場合があります。